

全日本空輸（ANA）の令和2年度上期運航計画

上期運航計画期間：令和2年3月29日（日）～令和2年10月24日（土）

なお、機材・ダイヤについては予定であり、変更される場合があります。

1. 萩・石見－東京（羽田）線

- ・便数及び機材は、令和元年度上期と概ね同じ
- ・現行ダイヤより第1便の東京発が1時間55分、萩・石見空港が2時間5分早い出発

東京（羽田） ⇒ 萩・石見				萩・石見 ⇒ 東京（羽田）			
便名	機材	期間	ダイヤ	便名	機材	期間	ダイヤ
725	738	3/29～ 6/30	8:40⇒10:15	726	738	3/29～ 6/30	10:55⇒12:25
		7/ 1～ 8/31	8:40⇒10:10			7/ 1～ 8/31	10:50⇒12:25
		9/ 1～10/24	8:40⇒10:15			9/ 1～10/24	10:55⇒12:25
727	738	3/29～ 6/30	15:55⇒17:30	728	738	3/29～ 6/30	18:15⇒19:45
	321	7/ 1～ 8/31	15:55⇒17:25		321	7/ 1～ 8/ 6	18:10⇒19:45
		9/ 1～ 9/30	15:55⇒17:30			8/ 7～ 8/17	18:05⇒19:40
						8/18～ 8/31	18:10⇒19:45
738	10/ 1～10/24		738	10/ 1～10/24	18:15⇒19:45		

機材 738：ボーイング 737-800(166席)、321：エアバス A321 (194席)

2. 萩・石見－大阪（伊丹）線

- ・運航期間及び機材は、令和元年度と概ね同じ [計18日間]
- ・令和元年度ダイヤより大阪発、萩・石見発ともに2時間5分早い出発

大阪（伊丹） ⇒ 萩・石見				萩・石見 ⇒ 大阪（伊丹）			
便名	機材	期間	ダイヤ	便名	機材	期間	ダイヤ
1147	Q84	8/ 1～ 8/18	8:05⇒ 9:05	1148	Q84	8/ 1～ 8/18	9:35⇒10:40

機材 Q84：ボンバルディア DHC8-Q400(74席)

【参 考】

<萩・石見－東京（羽田）線の運航状況>

区分	便名	令和元年度上期			令和元年度下期		
		機材	期間	ダイヤ	機材	期間	ダイヤ
羽田⇒ 萩・石見	575	738	3/31～6/30	10:40⇒12:15	738	10/27～11/30	10:35⇒12:15
		(737)			737	12/1～12/26	
		321	7/1～10/26		738	12/27～3/28	
	1103	738	3/31～6/30	15:30⇒17:05	738	10/27～2/29	15:45⇒17:20
		321	7/1～7/3		738	3/1～3/28	
		(737)	7/4～10/26		32A	3/1～3/28	
萩・石見⇒ 羽田	576	738	3/31～6/30	12:55⇒14:25	738	10/27～11/30	13:00⇒14:30
		(737)			737	12/1～12/26	
		321	7/1～10/26		738	12/27～3/28	
	1104	738	3/31～6/30	17:45⇒19:20	738	10/27～2/29	18:00⇒19:40
		321	7/1～7/3		738	3/1～3/28	
		(737)	7/4～10/26		32A	3/1～3/28	

上期運航期間：平成31年3月31日（日）～令和元年10月26日（土）

下期運航期間：令和元年10月27日（日）～令和2年3月28日（土）

機材 737：ボーイング737-700(120席又は144席)、32A：エアバスA320(166席)

注：上記の時間から出発又は到着が5分早い又は遅い期間あり

5月14日（火）、21日（火）、28日（火）、12月1日（日）から12月26日（木）までの575便及び576便、並びに、8月9日（金）から8月18日（日）までの1103便及び1104便は、737で運航

<萩・石見－大阪（伊丹）線の運航状況>

区分	便名	令和元年度上期			令和元年度下期		
		機材	期間	ダイヤ	機材	期間	ダイヤ
伊丹⇒萩・石見	1147	Q84	8/3～8/20	10:10⇒11:10			
萩・石見⇒伊丹	1148		(18日間)	11:40⇒12:45			

令和2年度上期運航計画発表について

(益田市長コメント)

本日、全日本空輸株式会社(ANA)から令和2年度上期運航計画が発表されました。

はじめに萩・石見空港―羽田(東京)路線については、第1便のダイヤが現在のダイヤより2時間近くの前倒しとなり、地元住民の皆さまはもとより、首都圏からのビジネス利用や個人観光等にご利用の方々にとっても利便性向上となるダイヤとなりました。このことは、かねてより実施しています全日本空輸株式会社への要望活動により「運航ダイヤの見直し」が図られたものと大変喜ばしく思っております。

次に、萩・石見空港―大阪(伊丹)路線については、期間限定での運航が今年も継続されることとなり、今年も昨年同様のお盆期間の前後という需要の高い時期に運航期間が設定されました。昨年は目標達成とはなりませんでしたが、協議会としましては運航期間の拡大や年末年始などの他季運航の実施も視野に入れ、さらなる取組の強化を図り利用率を高める努力により目標の達成を目指してまいります。

最後になりますが、萩・石見空港―羽田(東京)路線は、国土交通省の羽田発着枠政策コンテストにより期間限定の二往復運航となっておりますが、今年三月の有識者懇談会において提案の評価を受け、年度内に選定路線が決定されます。協議会といたしましても、年間目標達成に向けより一層の利用促進に努め、また、全日本空輸株式会社、島根県、圏域市町、関係団体との連携強化を図ってまいります。そして住民の皆様のご協力をいただきながら、今年度の利用実績を積み上げ、コンテストへ向け一丸となって進み、二往復運航の継続を目指します。

令和2年1月22日

萩・石見空港利用拡大促進協議会

会長 益田市長 山本 浩章